

機器保全情報 - 機器情報





Copyright © Yokogawa Electric Corporation
November 2007

Page 1



その一つが機器保全情報というデータベース機能です。

まず、接続している機器を登録することができます。

(よく使う機器をお馴染みさんとして登録します)

この機能では一つ一つの機器の台帳を作成できます。機器のカルテと言っても良いでしょう。機器が何の問題もなく取り付き、無事に役目を終えられたらいいですが、なかなかそうはいきません。この機器保全情報には機器のノウハウをためておくことができます

この機器情報には納入日や稼働開始日などの記録を残しておくことができます。

またお客様で使用されている用語を(例えばQC管理、安全レベル等々)AUX1, 2, 3に書き換えることも可能です。



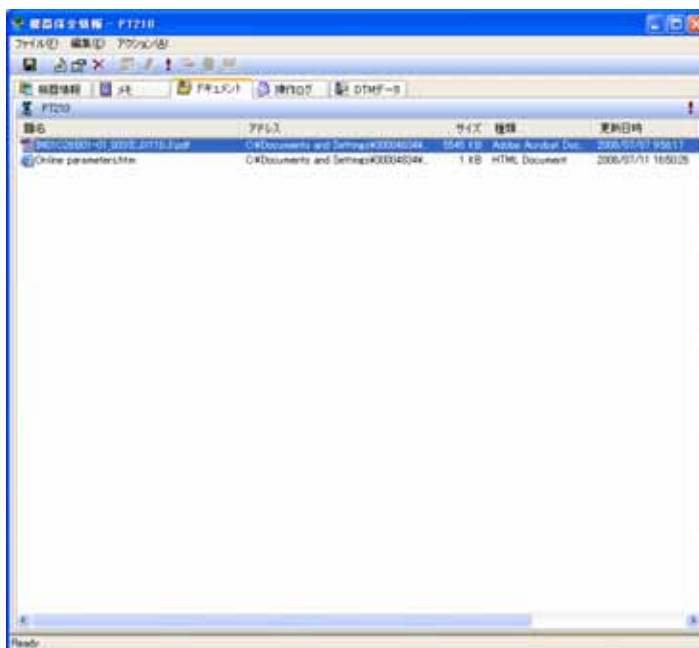
<メモタブをクリック>

メモには、作業ノウハウや管理情報を残すことができます。今までは日報として紙に記録し、ファイリングしていましたが、これだと1ヶ月もするとどこに行ったかわからなくなってしまいそうです。その点、PCにメモとして残せば、紛失することなく即座に参照することが出来ます。また担当者が変わっても、保存されている事例を参照し現場ノウハウの継承をサポートします。

(例えて言いますとメモでは**機器についての処方箋**を保存しておくことができます)

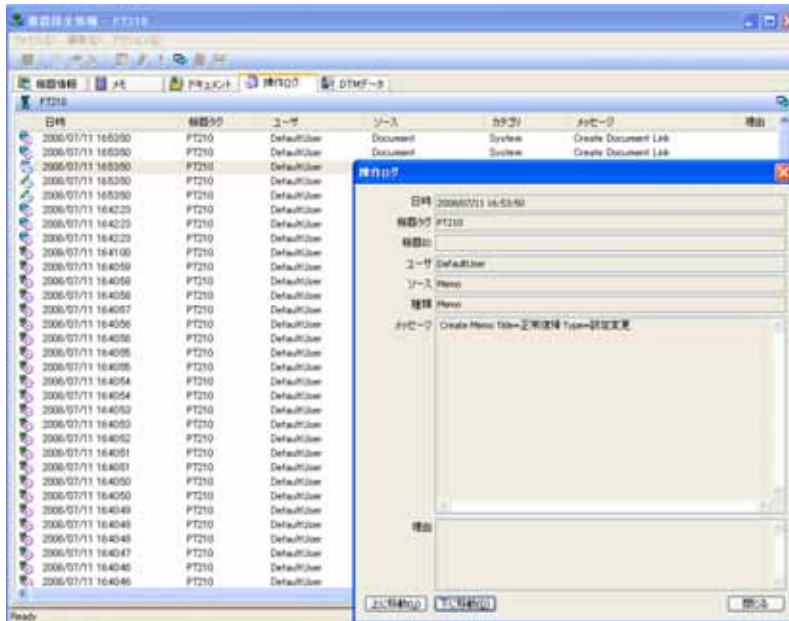
また未作業事項などにはポストイットをメモの横に貼り、忘れないように目立たせることもできます。

お客様のワークフローに合わせて、ご使用ください。



<ドキュメントタブをクリック>

ドキュメントにはこの機器に関するファイルをドラッグアンドドロップで保存できます。取り扱い説明書、成績書またはサポートページのリンク、破損補修前後のデジタル写真などを保存しておくると便利です。使い方はお客様の自由です。



< 操作ログタブをクリック >

操作ログには、これまで操作してきた内容が逐一記録されていて、誰が、何時、何を操作したかという履歴を後からでも確認することができます。

番号	日時	理由	DTM名	DTMタイプ	DTMデバイス
1	2006-07-11 11:54:16	工場出荷時	SPAN Universal	YOKOGAWA	保留
2	2006-07-11 11:56:33	工場出荷時	SPAN Universal	YOKOGAWA	保留
3	2006-07-11 12:03:46	異常動作 20060711	SPAN Universal	YOKOGAWA	保留

< DTMデータタブをクリック >

そして、DTMデータでは、先ほど保存した機器の設定データを確認できます。ポイントは、**何の目的で保存したか**ということを記録しておけるということです。例としては、工場出荷時、スタートアップ終了時、商業運転開始時のようなタイミングでセーブしておく便利です。

(機器を患者さんに例えるなら入院時、退院時、その後の経過といったタイミングで残しておく便利です。)